

海の教室

教壇は筏

平成31年2月9日(土)

牡蠣養殖場の見学会が開催されました。

当日は、新米漁業者の行野慎平さんと

浦村牡蠣養殖業者仲間の尾崎善信さんの協力を得て、

お客様を乗せた漁船を筏につけて、

現場での説明と質疑応答となりました。

地球温暖化の影響か、
落葉が遅くなっている。
そのせいか、近年、牡蠣
の成長が遅くなっている。

Q:参加者 牡蠣に栄養や餌を与えるのですか?

牡蠣の栄養は植物性プランクトン

伊勢湾の潮の流れは反時計回り。
山で葉が落ち微生物が増殖する。
それらが雨に流され、木曾三川など川から
海に流れ込みプランクトンの餌になる。
鳥羽は、その栄養が集まる位置にある。

海は山の恩恵に与っている。牡蠣に直接餌
を与えてはいないが、山の管理や田畑での
作業が海の生きもののためになると思っ
て、頑張っている。



出発



鳥羽の牡蠣は、一年牡蠣
7、8月に種付けをし、
翌年秋冬に出荷される。
臭みや雑味の少ない
さわやかな味わい。

1年で
この大きさ!!



ここ浦村地区には、
牡蠣養殖業者が、77軒。
その内、31軒が焼き牡蠣屋を
経営している。

浦村の筏は、尾鷲ヒノキを使って、ボルト
締めめのしっかりした作り。65kgのアン
カー4、5本を海底に下ろしている。

牡蠣筏は、1台が5.4m×7.2mが5台でワ
ンセット(一流れ) ここには1250台ある。

牡蠣筏の設置場所は、潮の流れが速い方
がよいのだが、場所によって少しずつ条
件が違うので、公平を期して毎年抽選。



ワカメ養殖



ワカメの根



〈答え〉 Q1:かき落とす作業から「かき」と呼ばれるようになった。 Q2:山からの栄養がたくさん流れてくるところ。 Q3:400L以上